

あべの なんば うめだ 生涯学習センター 生涯学習ルーム 発！ 魅力発信中！！

生涯学習センター（あべの・なんば・うめだ）では、各区の生涯学習ルームのみなさまのご協力のもと、

ルームの作品展示や、一日体験教室等を開催しています。

地域の生涯学習活動の拠点である生涯学習ルームを、市民の方に身近に感じて頂き、学びの輪が広がることを目的に取り組んでいます。また、参加された推進員さん同士の交流の場にもなっています。

ぜひあなたの地域のルーム活動をPRしてみませんか？

詳しくは、各センターの地域支援担当までお尋ねください。

総合生涯学習センター

大阪市北区梅田1-2-2-500 大阪駅前第2ビル5階
tel) 06-6345-5004 fax) 06-6345-5019

担当区：北区・都島区・福島区・此花区・西淀川区・淀川区
東淀川区・旭区・城東区・鶴見区



～作品展をご覧になった方から感想が寄せられました～

“パッチワークの素敵なお絵描きを見ました。
細かい作業にびっくりです！”

“小学校でこんな取り組みがあるんだと知りました。
見に行こうと思います”

“○○さんに誘われて絵画を見にきました。
どれもほっこり、あたたかくなる絵でいやされました。”

広がれ！ 出会いと学びの輪



阿倍野市民学習センター

大阪市阿倍野区阿倍野筋3-10-1-300 あべのベルタ3階
tel) 06-6634-7951 fax) 06-6634-7954

担当区：東成区・生野区・阿倍野区・住吉区・東住吉区・平野区・西成区



私たちが、ちいむ・すたあとる（地域支援担当）です！
今年度もどうぞよろしくお願ひいたします♪



Umeda



Abeno



Namba

スタートル新聞 第5号 2018年4月発行

編集・発行 スタートル新聞編集チーム
協力 大阪市生涯学習推進員協議会
連絡先 大阪市立総合生涯学習センター
大阪市北区梅田1-2-2-500 大阪駅前第2ビル5階
tel 06-6345-5004 fax 06-6345-5019
facebook <https://www.facebook.com/iroirosturtle>
配布場所 総合生涯学習センター
阿倍野・難波市民学習センター
各区役所、各区図書館など

●無断転載・転用はご遠慮ください

生涯学習・地域いろいろ情報紙

スタートル 新聞 第5号

(2018年4月号)

生涯学習フェスティバルで
学びと笑顔の花が咲く！

12月から3月にかけて、各区で生涯学習フェスティバルが開催されました！

一年間の活動の成果を舞台発表・作品展示・体験教室など様々な形で発表し、生涯学習の楽しさをPRしました。



スタートル新聞とは？

大阪市では、地域のコミュニティづくりや身近な学びの場として、市内の各小学校を会場に「生涯学習ルーム」を実施しています。

スタートル新聞では、そんな生涯学習ルームの情報や、ルームを運営する「生涯学習推進員」の皆さんに関する情報、地域の生涯学習情報を発信しています。



facebookページ
『スタートルのいろいろ掲示板』



あなたの地域の
元気な“まなび”
情報収集＆発信中！



ホームページからもいろいろ情報発信中！

スタートルのいろいろ掲示板



WATCH! うおつち!

住之江区住之江小学校 「生涯学習まなぶくんデー」

「生涯学習まなぶくんデー」とは?

学校の授業の一環として、生涯学習ルームや地域の皆さんと一緒に作る土曜授業で、年に複数回開催され、今年で5年目を迎えます。その取り組みの様子を取材してきました。8時半の集合時間になるとスタッフの方々が続々と集合され、その数なんと92名!今年は住之江区長も見学に来られました。今回開催される11教室の内、7教室が生涯学習ルームからの教室で、その他にも大阪府レクリエーション協会、ボースカウト、地域緑化推進リーダーの皆さんと、小学校の先生による教室がありました。

音楽室では「住之江第九」の皆さんによる合唱体験がありました。明るく元気な歌声で思わず笑顔になります。アニメの主題歌や童謡など親しみやすい曲から始まり、「第九」では子どもたちも巻き舌を駆使しながら、一生懸命ドイツ語の発音に挑戦しました。



2018.1.13(土)
「生涯学習まなぶくんデー」プログラム

- ・バンド「SOS」
- ・ソフトバレーボール・住之江第九
- ・ピンポンクラブ
- ・子どもと絵本を楽しむ会「ぴよぴよ」
- ・ふれあい園芸講座(大根抜き)
- ・布ぞうり講座
- ・木の実で作品づくり
- ・紙パックトンボ飛ばし
- ・社交ダンス・ボースカウト (全11教室)



「ふれあい園芸講座」では皆で土おこしと、9月に種まきをした大根の収穫体験をしました。菜園の土には、天王寺動物園の協力で動物の糞や食べ残しをリサイクルした「サバンナ堆肥」が使われています。

どの教室でも皆が生き生きとして、楽しんで参加している様子が伝わってきました。地域の大人と子どもが体験を通して1つになる、素晴らしい取り組みでした。普段の授業では教わることのないこの日の体験が、もしかすると未来の扉を開くきっかけになるのでは?と思えるような1日でした。

取材にご協力頂いた住之江小学校の皆さん、推進員を始めとする地域のみなさん、ありがとうございました!



「布ぞうり講座」では、使い古したタオルやジーパン等の古着を使い、簡易編み機にセットして1本1本丁寧に編んでいきます。

出来上がったぞうりを実際に履いてみて、靴との違いを感じたり、体の感覚を深めてみて欲しいと講師の方からお話がありました。



平野区 加美南部小学校
生涯学習ルーム
「わらから作るしめ縄講習会」



(みんなでわらを分けていきます)



(二人で呼吸を合わせてグッとねじって編み込みます)



(完成したしめ縄飾りです)

生涯学習ルーム「わらから作るしめ縄講習会」が12月に開催されました。講師は平野区の推進員の野田三重子さんです。野田さんは約10年前にとあるギャラリーの講習会に参加して以来毎年しめ縄作りをされていて、今回は初めて講師を務められました。しめ縄づくりは、地域の人が大切にお米を育てたあとに「わら」を使い全て手作業で行なわれます。素材の魅力もあり、幅広い世代の方が和気あいあい取り組まれました。そんな地域の素材や、伝統を大切にするルームの取り組みの様子を少しだけ、写真でお伝えします。



「福島区・生涯学習ルームPRビデオができるまで」

今年度、福島区では生涯学習ルームPRのためのビデオ製作が行なわれました。推進員さんが中心になって行なわれたこの取り組みの、計画から完成までの話を取材してきました。

全体の流れ

2017年

7月 企画立ち上げ
8月 大阪市「地域公共人材」へ講師派遣依頼
9月 ビデオ製作会議に向けた顔合わせ

9/26 福島区生涯学習推進員研修会
「写真の取り方を学ぶ」



PRビデオに使う写真素材の撮影のコツを学びました

10/24 PRビデオ構成会議



皆がルームで撮影してきた100枚近い写真を並べて魅力的な写真をピックアップ!4グループに分かれ、PRビデオの設計図となる絵コンテを作りました。CMを通じてどんなメッセージを伝えたいのか、皆で話し合いながら考えました。

12/5 PRビデオ第1回編集会議



お互いに意見を出し合い、細部の調整を行います

2018年

1/23 PRビデオ第2回編集会議
2/27 関係者試写会
3/11 福島区生涯学習活動発表会でお披露目!
4/1~4/27 福島区役所1階待合室モニターにて放映



インタビュー
「生涯学習ルームPRビデオができるまで」

区代表:水田英二さん



区役所:伊藤学さん

— 今回生涯学習ルームのCMを作成することになったきっかけはどういったものでしたか?

(伊藤)

福島区では毎年3回、区独自に推進員さん向けの研修を行っています。最初は以前から候補に挙がっていた「広報のための写真の撮り方」の研修をやろうという話でした。研修は全て「ルーム発表会やルームの紹介につながるもの」という趣旨で実施しているので、それなら更に発展させて「CMづくり」にしてしまおうという事になりました。区代表の水田さんに相談しました。

(水田)

区の研修を行う上で「楽しんで皆のスキルアップにつながる」ことが大切だと考えています。CMづくりに取り組むことで「どんな人に向けてどんな事を伝えていいか」を考えることで、自分にとっての生涯学習を見つめ直すいい機会になるのではないかと感じたので、やってみようということになりました。

— 研修が決まってからのことについて教えてください。

(水田)

まず、大阪市の地域公共人材に講師の依頼をしました。講師の方と打ち合わせを行なう中で「みんなのやる気を引き出す」事を大事にしようという話があり、これなら上手くいくのではないかと思いました。研修が始まってからも、講師がファシリテーターとなってみんなの話や気持ちを上手くまとめ上げてくださって、「あかん」ではなく「こうしたらもっといい」という形で終始進めて頂いたのも良かったと思います。皆がCMに込める様々なメッセージやキャッチコピーも秀逸で、作品を相互に鑑賞しながらの編集会議でも細かい所までアドバイスがドンドン出てくるので、改めて「推進員の力ってすごい」と感じました。

— 大変だったことをそれぞれ教えてください。

(伊藤)

実際に写真を動画にする作業は私が行ったのですが、推進員さんの頭の中にあるイメージと、自分のイメージが合っているかどうか自信が無く不安でした。こまめにYoutubeの限定公開機能を使い、作業中の映像を見てもらうことで解決しました。

(水田)

最初は、途中で上手く行かない事があって経験したことや皆で考えたことは残る、「でけへんかったら、でけへんかったでいい」という気持ちでスタートしましたが、回数を重ねるごとに参加している推進員の皆さんがどんどん前のめりになっていくを感じましたし、グループで1つの物を作るという経験を通して皆の仲も深まったので、基本的には全て楽しかったです。

— 最後に、CMの見どころを教えてください。

(水田)

4種類のCMにそれぞれ異なるメッセージがあり、皆さんの生涯学習への想いが詰まっています。福島の推進員さんは皆さんあっさりしているけど、熱心で真面目。こだわる所と引く所の使い分けが上手で、今回のCMづくりでは普段出てなかった皆の「ええところ」がいっぱい出たと思います。

インタビューの際に公開前のCMを特別に見せて頂きましたが、どのCMも皆さんの「生涯学習に対する想い」を感じる素敵な作品でした。このCMは、3月11日に福島区の生涯学習フェスティバルで披露された後、4月1日から4月27日まで、福島区役所1階の待合室モニターで放映予定だそうです。

「次回は区役所に来てくれた方だけでなく、地域に発信していくためのチラシ作りを皆でやっていきたいと思っています。」と、今後の抱負も語って頂き、この日の取材は終了しました。取材にご協力いただきました区代表の水田さん、担当の伊藤さん、福島区の皆さん、ありがとうございました。